

結核(BCG)予防接種のお知らせ



1 対象者 11か月（1歳の誕生日の前日）までの方

※結核にかかったお子さんや外傷などによるケロイドがあるお子さんは接種することができません。

※3か月未満のお子さんの場合、先天性免疫不全症を有するかの判断が困難であり、免疫不全に気付かず接種をしてしまうと、全身播種性BCG感染症（重い副反応）を生じてしまう可能性があります。

八王子市に住民登録がない状態で接種を受けると、**全額自己負担**となります。

なお、転出届の提出日ではなく、転出日から住民登録がなくなりますのでご注意ください。

2 接種回数 1回

接種回数	無料で接種できる年齢
1回	11か月まで

3 接種スケジュール

無料で接種できる年齢	11か月まで
推奨接種年齢	5か月（5か月になる日の前日）～7か月（8か月になる日の前日）
接種回数	1回

4 予防する病気の特徴

結核菌の空気感染、飛沫感染、接触感染で起こります。結核菌は主に肺の内部で増えるため、せき、痰、発熱、呼吸困難等、風邪のような症状があらわれます。また肺以外の腎臓、リンパ節、骨、脳など身体のあらゆる部分に結核菌が広がり影響が及ぶことがあります。特に、子どもでは全身に及ぶ重篤な結核につながりやすいと言われています。

5 ワクチン接種の効果と副反応、接種後の経過

【効果】

結核の発病を、接種しなかった場合の約4分の1に抑えることができます。結核性髄膜炎や粟粒結核（結核菌が血管の中に侵入して全身に広がる結核）など重篤な結核に対して、特に防ぐ効果が確認されています。

【副反応】

局所反応として、注射した部位の強い反応により複数の針痕が融合したり、湿潤やびらん面を形成する接種局所の反応（強い局所反応があった例の一部はケロイドとなることがあります。）、接種した側のわきの下のリンパ節の腫れがあります。その他には、骨炎（骨膜炎、骨髄炎など）、皮膚結核様病変、全身播種性 BCG 感染症などの報告もあります。非常にまれですが、アナフィラキシー（※）などの重大な副反応があるといわれています。通常反応のほかには何らかの異常（けいれん・高熱など）が強く出た場合には、速やかに医師の診察を受け、保健所健康政策課へ連絡してください。

※アナフィラキシー：通常接種後約30分以内に起こるひどいアレルギー反応のこと。顔が急に腫れる、全身にひどいじんましんが出る、息苦しい、嘔吐などの症状やショック状態になるような、激しい全身反応のこと。

【接種後の経過】

●通常の場合

① 接種直後～ 2週間程度	針痕に血が滲むなどの反応が現れますが、まだ 膿みはできません。 ※接種の際に針を強く押し付けるため、接種部が針のとおり丸く腫れたり血が滲んだり、赤くなりますが、これは正常な経過と考えられます。
② 4週間程度	赤く腫れた針痕の先に膿みができ、反応が強くなってきます。
③ 6週間程度	接種部分の腫れや反応が最も強くなります。
④ 2～3か月程度	接種部分の腫れや反応が徐々に弱くなっていきます。
⑤ 4か月程度	瘢痕を残して反応がおさまります。

●コッホ現象の場合

結核既感染者に BCG を接種すると、接種後、早ければ1～2日遅くとも10日以内に接種部位の赤み・腫れ及び膿みをきたし、通常2～4週間後に徐々に反応が弱くなり、針痕が残る程度に治癒する一連の反応が起こります。この反応を「コッホ現象」と呼んでいます。

① 接種後2日程度	接種部位に <u>黄色い膿み</u> を伴う盛り上がりが生じます。
② 接種後1週間程度	接種部分の腫れや反応が徐々に弱くなっていきます。
② 2～4か月程度	針痕が残る程度に治癒します。

※外来を受診するほどの緊急性はありませんが、変化に気付いたら、2～3日以内に接種医療機関に必ず受診してください。また、写真による接種部位の経過の記録を残しておいてください。

6 健康被害救済制度

定期予防接種を受けて重篤な健康被害が発生し認定された場合には、予防接種法の規定に基づき、健康被害に対する給付が行われます。

【お問合せ先】

八王子市保健所 健康政策課 〒192-0083 八王子市旭町 13-18 ☎ 645-5102/FAX 644-9100